

静岡大学同窓会会報

No. 31

発行所
静岡大学理学同窓会
静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部内
TEL 054-237-1111(代)
会長 浅野安人

創造理学(グローバル人材育成)

コースの導入と理学部ロゴマーク

理学部長 塩尻信義



今年、静岡大学にとって大事な年です。この3月で第2期中期計画が終了し、4月より第3期中期計画がスタートします。平成28年度には、教育学部新課程の廃止、人文社会科学部の学生定員の見直しを受け、各学部で種々の組織改革が実施されます。「地域創造学環」の創設、人文社会科学部に「国際日本学プログラム」の導入、教育学部に「養護教育専攻」と「初等学習開発学専攻」の新設、情報学部の3学科への再編、農学部の2学科への改編、工学部の定員増、そして理学部の場合には、現行5学科に加え、新たに「創造理学(グローバル人材育成)コース」を導入します。「創造理学コース」で

は、基礎科学の学識と問題解決能力に加え、さらにイノベーションとグローバルの観点をあわせもつ人材を育成します。募集人員は20名(推薦10名、後期10名)です。このコースの学生の学科配属は2年次で、1年次に各専門分野を学び、自身の適性にもとづいて学科を選びます。またこのコースの専任として、英語が堪能な、3人の新任教員も決まりました。外国籍の方2名、日本国籍の方1名です。このコースが、コース学生の教育のグローバル化に加え、理学部教育全体の国際化の突破口になればと期待をしております。

一方、「創造理学コース」の導入を契機に、本コースの教育に加え、現行5学科の教育を評価し、その改善と将来計画を練る組織として、理学教育推進室を立ち上げ、新しい理学教育をめざしたいと考えております。理学教育推進室は学部内のメンバーだけでなく、外部委員として、浜松ホトニクス株式会社中央研究所・原勉所長、太陽化学株

創造理学グローバル人材育成コースの導入と理学部のロゴマーク(第6面参照)……………(1)
アジアブリッジプログラム……………(5)
東海地区交流会幹事募集……………(5)

シアの有力大学(各種の大学ランキングで常にトップ10に入る著名な大学)です。この協定に基づき、香港科技大学との学術交流に加えて学生交流も行います。「創造理学コース」学生や総合科学技術研究科の理学系大学院生の派遣を計画中です。

理学同窓会の支援を受け

時代の波に乗り遅れないために

理学同窓会長 浅野安人



今年の2月、物理現象についての新たなニュースが世界を駆け巡りました。米国のチームが「重力波」を初めて観測したというものです。これは、1916年にアインシュタインが発表した一般相対性理論で示した宇宙像で予言されたものです。この5年後に、静岡大学理学部・人文社会科学部の前身である旧静岡高等学校が設立されたことを考えると百年という歳月の長さがよくわかります。文学部が理学部と人文科学部(現在の人文社会科学部)に改組されてからでも51年

いただきました。理学部では、このロゴマーク入りクリアファイルやシールを作成しました。学会発表等のスライドにいれる方も増えつつあるようです。この場を借りて理学同窓会に厚くお礼を申し上げます。このロゴマークをご利用いただけるとうれしいです。

理学部ロゴマークとともに、卒業生、在学生、現職員の活躍が表に出ることを願ってやみません。今後とも同窓会よりご支援をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

理学同窓会主催科学講演会・懇親会の開催のご案内

11月下旬に開催されます静岡地区静大祭に合わせて、理学同窓会主催の科学講演会を開催します。

日時:平成28年11月19日(土) 14時より
会場:理学部A棟2階大会議室(A209)
科学講演会 14:00~15:30
懇親会 16:00~17:30 会費1000円

詳細は、同窓会のHPに掲載します。
理学同窓会は、各卒業年度の同窓会開催のお手伝いをします。左記の同窓会事務局までご連絡ください。
静岡大学理学同窓会事務局
e-mail: scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
http://www.sci.shizuoka.ac.jp/alumni/index.html

◆理学同窓会
東京支部懇親会

東京交流会終了後、理学独自の懇親会を行う予定です。

◆新卒者(2016.3卒、2015.3卒)は参加費無料。

◇如水会館
〒410-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1
TEL03(3261)1101(代)

この静岡大学と理学部が、百年、二百年と成長を続けていくために、理学同窓会はみなさんと共に、静岡大学理学部と大学院理学研究科及び今後創設される理学系研究機関を支援して行きたいと思っております。卒業生の皆様方の温かいご支援をお願いいたします。

◆東京交流会式次第

1 第一部:講演会等 (15:00~17:00)

14:40受付開始

◆理学同窓会
東京支部懇親会

2 東京交流会
第二部:懇親会 (17:25~19:00)

講演:静大道林先生に講演をお願ひしています。
演題「マントルかんらん岩とモホール計画」。

学生歌斉唱
静岡大学OBグリークラブの指揮
来賓紹介
来賓からの祝辞
懇親会

静岡大学東京交流会2016 理学同窓会東京支部総会

日時 2016年6月18日(土) 13時12分30分受付開始

場所 東京 如水会館

15:00開会
主催者挨拶(鶴飼実行委員長)
来賓挨拶
静岡大学学長 伊東 幸宏様
記念講演
陽捷行(みなみかつゆき)様
合唱(静岡大学OBグリークラブ)
公演「大江戸玉すだれ」
佃川燕也様、佃川松乃葉様

退任教員

化学科 菅野 秀明



富士山を初めて見たのは、1970年3月に理学部化学科の入学試験のため静岡を訪れた時でした。当時の大谷キャンパスは3年前に大岩地区から移転したばかりで、理学部はA棟とB棟だけであり、農学部は磐田から移転する前でした。キャンパス内の樹木はまだ育っておらず、どこからでも富士山を眺めることができた。学内では野生の雉も鳴いていました。

新規の金属錯体を合成してそれらの立体構造や反応性を調べるのですが、実験器具や測定機器の拝借など、学科を越えて先生方に便宜を図っていただきました。金属錯体は魅力的な性質をもつカラフルな化合物で、きれいな色の新しい錯体や珍しい反応を示す錯体が苦勞の末に得られ、研究室の学生さん達と大喜びした日々が一番の思い出です。

赴任した当時は部局や学科を越えた教職員の交流が活発で、部局対抗のスポーツ大会や囲碁、将棋大会などが開催されていました。囲碁は私の趣味の一つですが、部局対抗の学長杯争奪囲碁大会が定期的に開催され、多い時には20チーム(1組3名)以上の参加がありました。あの年の大会で、本部事務局の最強チームを抑えて理学部Aチームが優勝し、優勝杯と表彰状が理学部長室に飾られていたことは痛いな思い出の一つです。理学部でも囲碁の学部長杯争奪戦が年に数回開催され、親睦を深めていました。

私の教員生活が大きく変化したのは2004年の国立大学法人化で、前年に本学の法人化移行準備本部が設置されました。その部会の一つである安全衛生部会の座長が、後に学長になられた天岸理学部長で、当時の全学危害防止監督者と理学部環境保全委員会委員長であった私が部会委員に指名されました。国立大学での人事院規則による教職員の安全衛生に関する規程が、法人化移行後には大学独自に制定した就業規則と教職員労働安全衛生管理規程に変わることになりました。また、国

赴任した当初は、理学部と旧教養部の先生方のほとんどが恩師でした。研究分野

新任教員

数学科教授・関数解析学 松本 敏隆



2015年6月1日から数学科でお世話になっており

6月1日から数学科でお世話になっており、話になっております。それまでは、広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻という長い名前の専攻に所属しておりました。これは1999年に生命科学と数理科学の融合を目指して生物、化学、数学それぞれの一部の講座を集めて新しく発足した専攻です。出来た当初は実験系と数学系との「文化」の違いから来る、違和感の方が大きかったです。今は、今では随分しつくりと来るようになり、分野融合的な研究が出来る学生を育てることが出来るようになってきています。数学系についても数学を専門とする人ばかりではなく、私自身1999年以前は数学専攻に所属しておりましたので、今回の静岡大学への異動で16年振りに数学プロパーな組織に復帰することになりました。専門は、関数解析学および実解析学で、主としてバナッハ空間での抽象的な常微分方程式の研究と、それを具体的な偏微分方程式の適切性の研究へ応用することです。研究内容からいっても数学科に所属できたのは良かったと思っています。

家資格を有する各種委員を含めた労働安全衛生管理規制も新たに構築する必要があります。一般企業にはこれらの規則や体制がありませんが、教育機関である大学にはそぐわない内容でした。そのため部会では、人文学部の労働法の先生や静岡労働基準監督署の署員、安全衛生コンサルタントなどを講師に迎えます。まず法律の勉強会から始めることになりました。夜遅くに、当時の施設課や人事課の担当者の方から、明日の午前中までに資料を点検・作成して欲しい旨の電話やメールが頻りにありました。その後の約10年間、安全衛生専門委員会委員長として安全衛生業務に係わることになり、法律とは無縁であった私にとって得がたい経験になりました。

教員生活での宝物は、研究室に配属された学生さん達ばかりではなく、他の研究室の多くの学生さん達とも親しく交流できたことです。学生さんの趣味や出身地の話など、興味深い話を聞かせてもらい、私の趣味に旅行が加わりました。皆さんとは卒業後も交流が続いています。最後になりましたが、化学科をはじめ理学部の教職員の皆様のご厚情に篤く御礼申し上げます。

元静岡大学教授で片山さつき参院議員の父親で、「リーマン幾何学入門」の著者として著名な宇都宮大学名誉教授の朝長康郎氏が4月17日肺炎のため93歳で死去(Obituary: 静岡新聞)

土 隆一名誉教授のご逝去を悼んで

出身 フランス



デュア ガエル 分野 地球科学・海洋生態学(モデリング)

静岡大学理学部、地球科学教室2代目教授であった土隆一博士が亡くなられた。土先生の専門名は当時は古生物学、昔の生物の研究だ。先生は主に第3紀の掛川層という精々数千万年前の地質時代に生きていた化石生物の形を調べて、地層の上下から順番を決めてどのような形の変化が起きていたかを調べるといようなイメージであるのか?専門は、貝類の化石から見る掛川地域の地質史の研究等である。

筆者が入学した1967年当時、土先生は、丁度南米の新生代の化石を研究しており、代表者となってゴロンピア・アンデス学術調査隊を率いてアンデス山脈の最北端サンタマルタ山群に行っておられた(写真の前列中央が土隆一先生)。当時としては、静岡大学としても特出していた太平洋の向こう岸、南米ペルーへの海外巡検というのを

退任後はしばらくの間、静岡に事務所を構えて、調査・ご研究を続けておられたが、平成27年4月2日にご逝去された。心からご冥福をお祈り申し上げます。先生が基礎を築かれた地球科学教室は、現在、地球史における、過去から現在に渡る環境変動、それに伴う生物進化、大気から海洋に至る地球と海洋の生物と化学の共存する姿、地震にまつわる影響を広く理解するべく、静岡におり最も研究の中心地にあるべしという運命に揺すられながら、地震や津波から生物地球環境などへの影響なども含め、極めて広い時間空間への研究対象の広がりを見せている。

和田秀樹(地球科学科)



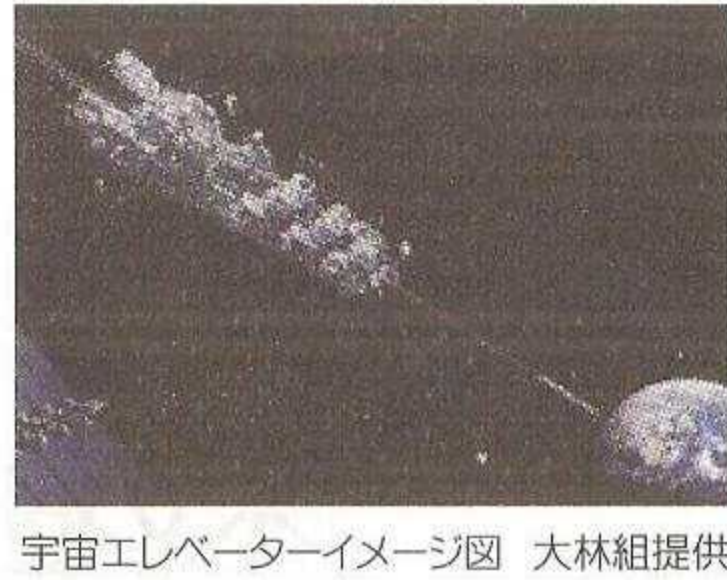
写真 静岡大学理学部、地球科学教室2代目教授であった土隆一博士が亡くなられた。土先生の専門名は当時は古生物学、昔の生物の研究だ。先生は主に第3紀の掛川層という精々数千万年前の地質時代に生きていた化石生物の形を調べて、地層の上下から順番を決めてどのような形の変化が起きていたかを調べるといようなイメージであるのか?専門は、貝類の化石から見る掛川地域の地質史の研究等である。筆者が入学した1967年当時、土先生は、丁度南米の新生代の化石を研究しており、代表者となってゴロンピア・アンデス学術調査隊を率いてアンデス山脈の最北端サンタマルタ山群に行っておられた(写真の前列中央が土隆一先生)。当時としては、静岡大学としても特出していた太平洋の向こう岸、南米ペルーへの海外巡検というのを

第20 シーズン

平成27年3月26日(木)
18:00~19:30
山極 芳樹
〔静岡大学工学部機械工学科〕



【第94話】
「宇宙エレベーター」
—その仕組みと研究開発の現状—



宇宙エレベーターイメージ図 大林組提供

宇宙エレベーターとは宇宙ステーションと地上をケーブルで結んで、それに沿って昇降するエレベーターで宇宙まで人や荷物を運ぶ画期的な宇宙輸送手段です。近年の技術の発達で現実味を帯びてきました。



そのしくみと研究開発の現状について説明します。

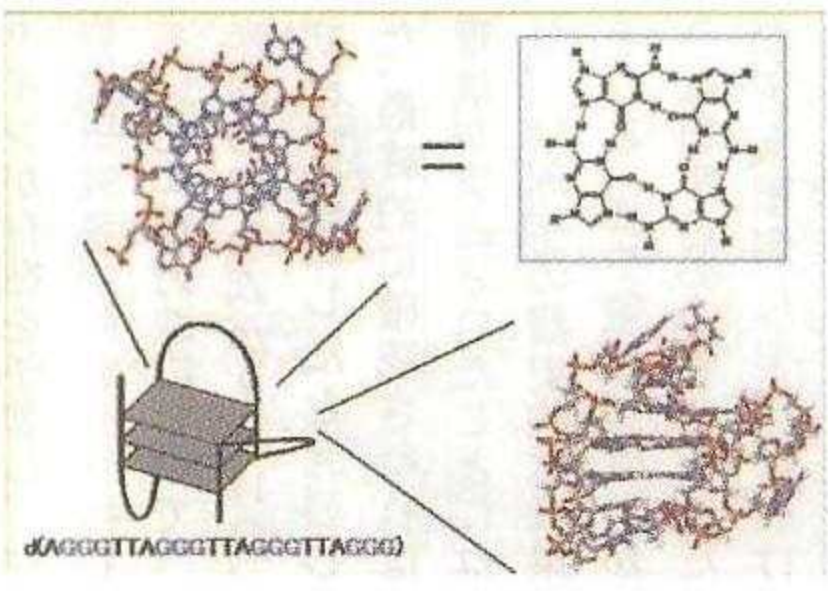
平成27年4月30日(木)
18:00~19:30
大吉 崇文
〔静岡大学理学部化学科〕



【第95話】

Science Cafe in Shizuoka
サイエンスカフェ in 静岡
B-nest静岡産学交流センター
主催：静岡大学理学部

「生命のカギとなるDNAのかたち」



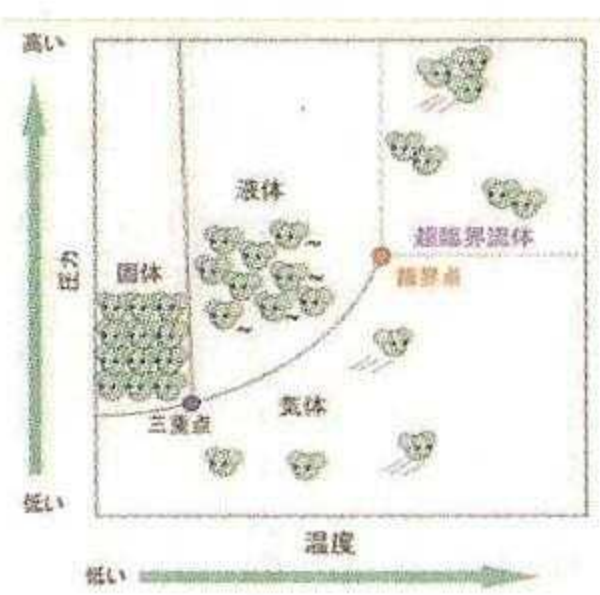
DNAは2重らせん構造

をとというカタチを形成しているという報告されてから約60年が経つが、最近奇妙なカタチを形成するDNAが見つかっています。近年わかってきたこの奇妙なカタチのDNAがもつ巧妙な世界を紹介いたします。

平成27年5月21日(木)
18:00~19:30
岡島 いずみ
〔静岡大学工学部バイオ工学科〕



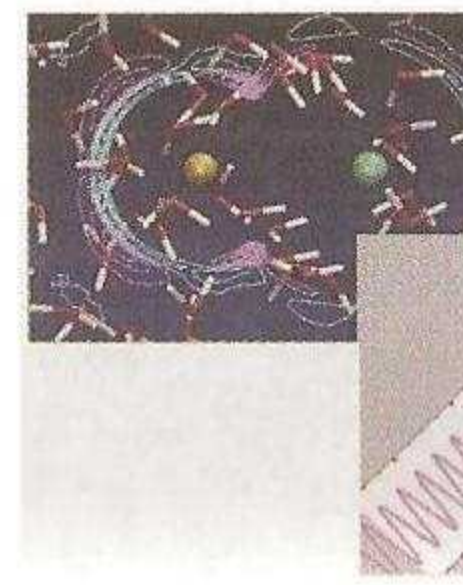
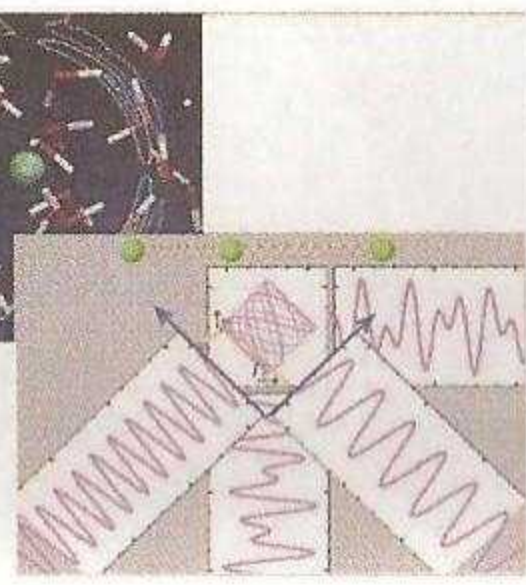
【第96話】
「超臨界流体 — 高圧流体で何ができる? —」



超臨界二酸化炭素を用いた有機合成や、超臨界水や超臨界アルコールによるプラスチックのリサイクル等、身の回りの流体を高圧にすることで様々な反応を行うことができます。今回は実際にどのような技術に用いることができるか紹介します。

平成27年6月18日(木)
18:00~19:30
河合 信之輔
〔静岡大学理学部化学科〕

「見かたを変えると見えるもの」



物体の動きを調べるとき、「座標軸」というものを用いて物の位置を測ります。どのような座標を用いるかは、我々がどういう視点でものをみるかの選択でもあります。分子の動きを題材に、「良い座標」とは何かについて考えてみたいと思います。

平成27年7月30日(木)
18:00~19:30
増田 俊明
〔静岡大学理学部地球科学科〕



【第98話】
「すこくへんな石 — 地殻変動を調べる手がかり」
岩石(石)は、普通は「堆積岩」、「火成岩」、「変成岩」の3つに分類します。こ

の講義では、岩石を「普通の石」、「変な石」、そして「すこく変な石」の3つに分類した上で、「すこく変な石」が地殻変動の様子(例えばプレート移動方向とか岩石に加わった力の大きさなど)を知るのに役立つものであることを紹介いたします。



図1: マイクロブローデン構造



図2: 回転組織

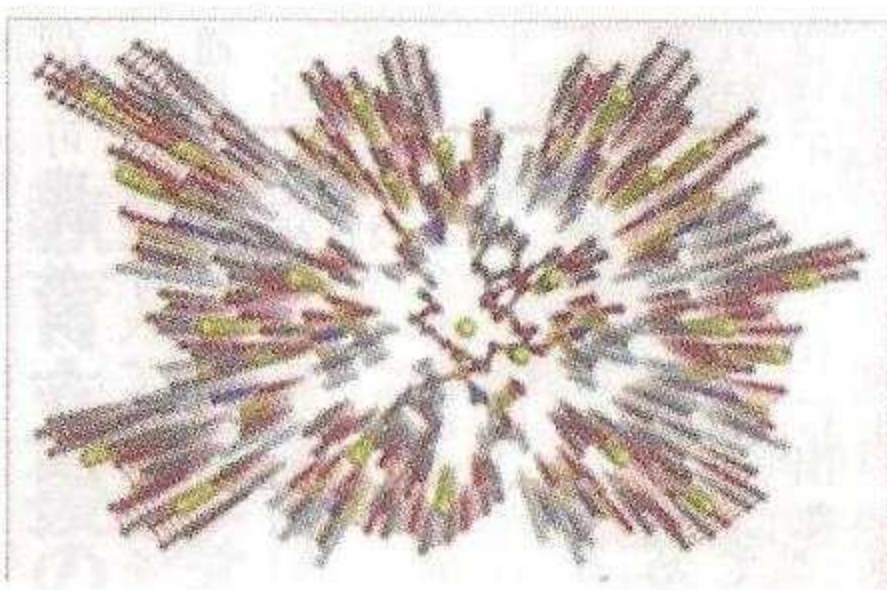
第21 シーズン

平成27年9月24日(木)
18:00~19:30
守谷 誠
〔静岡大学理学部地球科学科〕



【第99話】
「固体イオニクスとこれからの電池」
エネルギーの効率的な利用に向け、安全で安価で高性能な次世代蓄電池の開発が求められています。なかでも全固体電池というものがこれからの電池の一つ

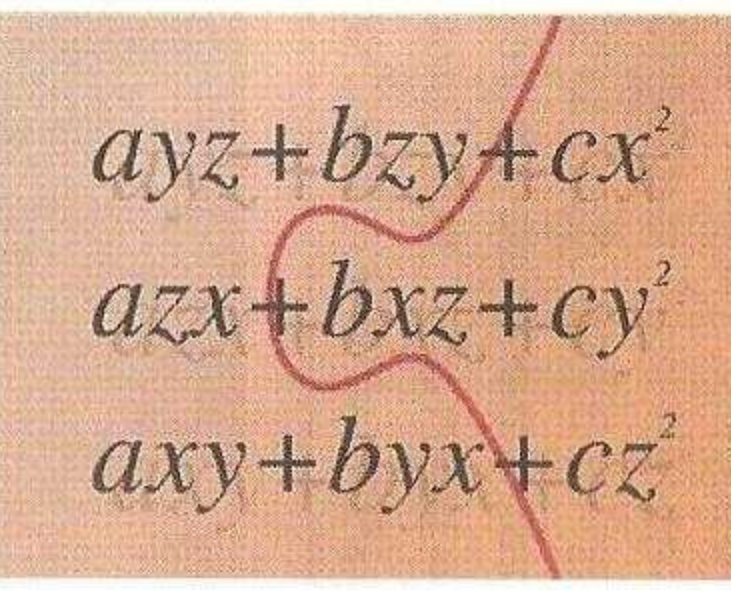
として注目されています。この全固体電池とその実現の鍵となる固体イオニクスについて紹介します。



平成27年10月30日(木)
18:00~19:30
青山昭五
〔静岡大学理学部物理学科〕

【第100話】
「ニュートリノのぞき」
今年のノーベル物理学賞に輝いた研究「ニュートリノ振動」について話をします。質量がないと思われていたニュートリノに、何故質量があるといえるのかを説明します。実は毎秒・毎平方センチ当たり660億個のニュートリノが、私たちの体を突き抜けています。講演を聞いてニュートリノが少しでも身近に感じて頂ければ幸いです。また、スーパーカミオカンデの実験で何がわかったのか、についても触れたいと思います。

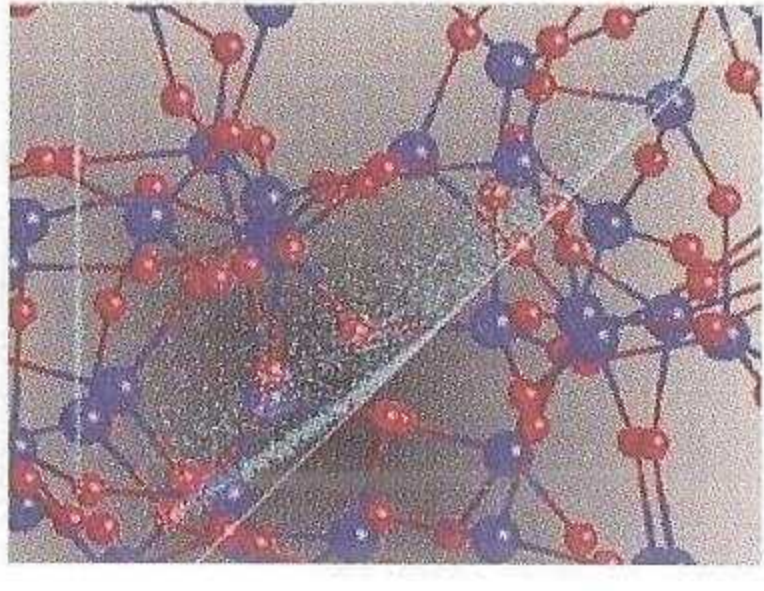
【第101話】
「量子空間の世界 — 非可換方程式を解いてみよう」
代数幾何学は通常の方程式(代数)とそのグラフ(幾



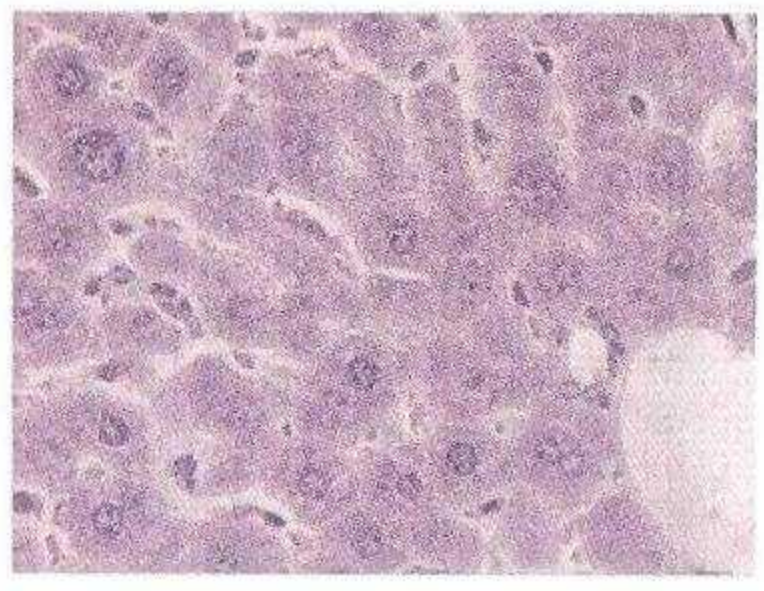
【第102話】
「体の成り立ちと再生」
毛が生え変わったり、傷ついた皮膚が治るしくみや、肝臓や筋肉などが元通りに再生されるしくみはどのようになっているのだろうか? 動物によっては切っても切ってもまた同じように手や足がでる。こ



【第103話】
「柔らかいトポロジーの穴から眺める世界」
トポロジーとは進化の呼ばれる数学では、コーヒーカップとドーナツは同じ対象とみなされ「穴」に代表される粗っぽい構造が大切になってきます。このように詳細な幾何情報をあえて捨て、粗っぽい構造に着目することで初めて見えてくる科学の世界を紹介したいと思います。



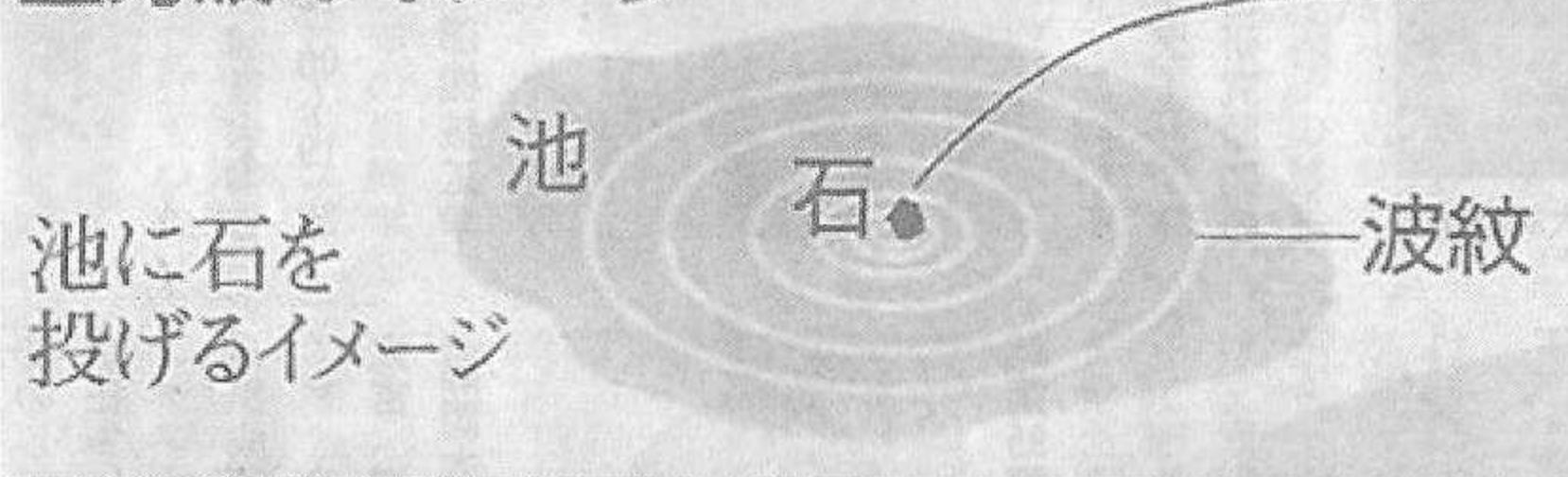
平成28年1月28日(木)
18:00~19:30
平岡 裕章
〔東北大学原子分子材料科学高等研究機構〕



これらのしくみについてお話しします。

技術ニュース

重力波のイメージ



重力波を初観測

米のチーム 宇宙の姿解明に道

100年前にアインシュタインが存在を予言し、世界の研究者が観測を目指していた「重力波について」、米国のチームが2月11日、初めて観測したと発表した。最終的に確認されれば理論が裏付けされたことになり、物理学の歴史的な成果となる。光や電波では分からない宇宙の姿を探る新たな天文観測にも道が開ける。

重力波は、時間や空間がわずかに伸び縮みする「時空のひずみ」がさまざまなものように伝わる現象。物体が加速して動くときに起こる。アインシュタインが1916年、一般相対性理論から予言していた。その観測は「最後の宿題」とされ、物理学の長年の悲願だった。

このため、星の合体などで生じた大きな重力波をとらえることになる。研究チームは米国2箇所にある装置「LIGO(ライゴ)」の性能を大幅に高め、昨年9月から今年1月上旬まで観測、分析作業を進めていた。

発表によると、昨年9月14日、地球から13億光年離れた二つのブラックホールが合体したときに出たと思われる重力波を十分な精度で検出。物理学誌「フィジカル・レビュー・レターズ」に論文が掲載された。

「われわれは重力波を検出しました」。ワシントンで開かれた記者会見で、カリフォルニア工科大学チームのリーダー、デービッド・レイツェ博士が宣言すると会場から大きな拍手がわいた。2箇所の観測装置で検出された波形が、相対論から導かれる波形の特徴と

梶田さん、会見で賛辞

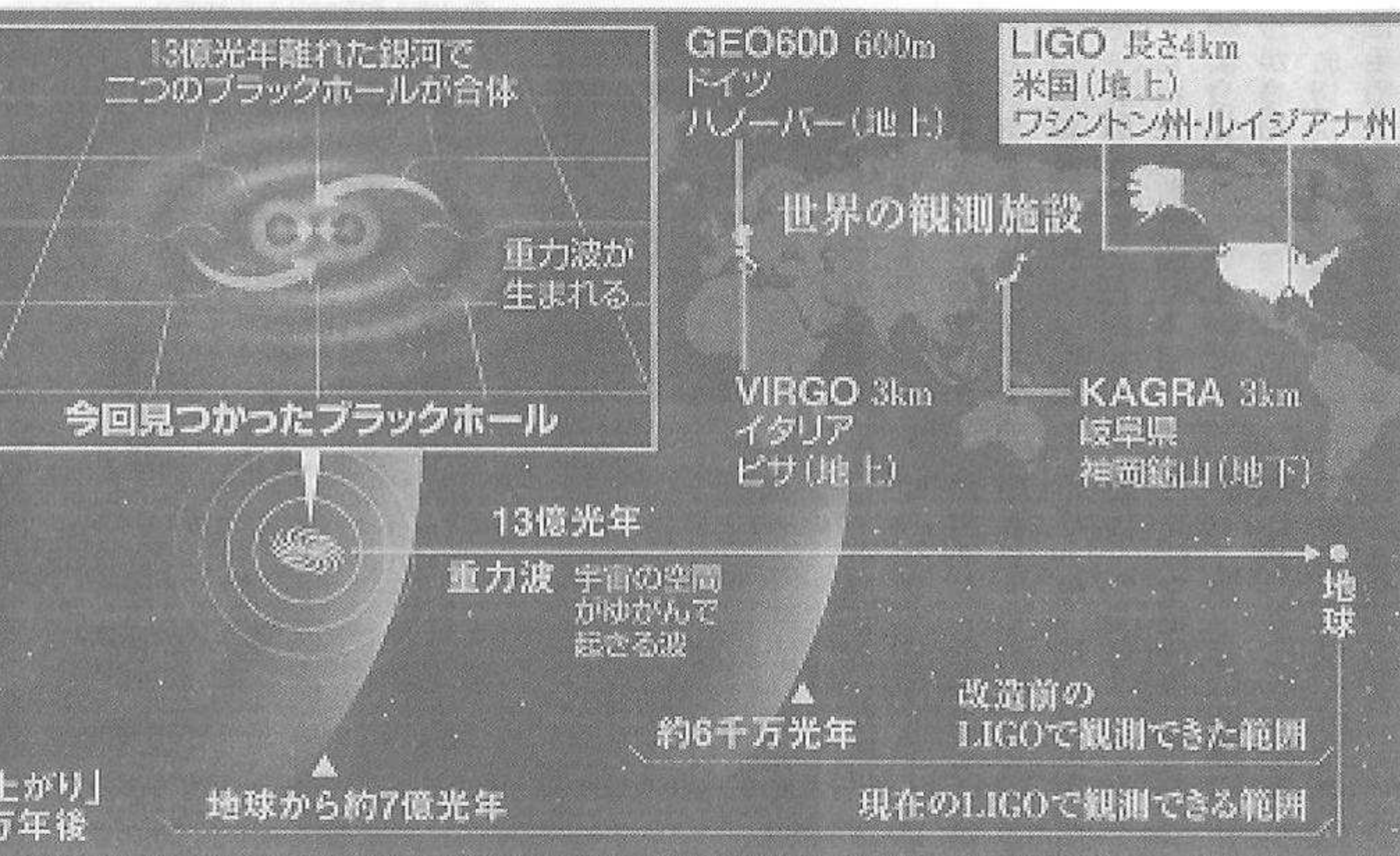
岐阜県・神岡鉱山で重力波観測に取り組む梶田隆章



記者会見する梶田隆章・東京大宇宙線研究所長。12日午前、千葉県柏市、関田航撮影

章・東京大宇宙線研究所長は12日会見し、「ずっと待ち望んでいた歴史的快挙」と賛辞を送った。

ブラックホール 宇宙の初期・解明期待



重力波を観測すれば、光や電波を使う望遠鏡では追いつけなかった天体の新たな姿が見えてくる。ブラックホールや中性子星がその例だ。今回の発表は「重力波天文学」の幕開けでもある。

LIGOのチームがとらえたのは、二つのブラックホールが互いの周りを回る「連星ブラックホール」が最後に合体する現象。予想されていたが、実際に観測されたのは初めてだ。合体では太陽3個分の巨大なエネルギーが放出されたと見られる。

岐阜県・神岡鉱山にある日本の観測装置KAGRAが目標に上げる一例が、ブラックホールの誕生の間だ。巨大な星が一生を終える「超新星爆発」が起こると、その中心にブラックホールが生まれる。ガスに包まれて光は遮断される

が、重力波はすべての物質を通り抜けるので観測できる。中村卓史(京都大教授)宇宙物理学)は「本当に面白いのはブラックホールのぎりぎりまで見えること」と話す。重力波でその様子を調べ、従来の物理理論が成り立たないことが分かれば、理論の書き換えにつながる可能性がある。

重力波はすべての物質を通り抜けるので観測できる。中村卓史(京都大教授)宇宙物理学)は「本当に面白いのはブラックホールのぎりぎりまで見えること」と話す。重力波でその様子を調べ、従来の物理理論が成り立たないことが分かれば、理論の書き換えにつながる可能性がある。

宇宙は138億年前に誕生した後、急膨張し、火の玉となった。光は飛び交う粒子に反射されて閉じ込められており、やがて冷えて38万年後から外に出た。「宇宙の晴れ上がり」と呼ばれ、これより前の宇宙の姿は光では観測できない。宇宙の膨張で生じた「重力波」をとらえれば、この

空白期間を生めることができる。直接、間接に観測する計画が世界で進む。波長が長いと、複数の人工衛星の間でレーザー光をやり取りして観測する計画が欧州で進む。

ただし、重力波天文学には課題も多い。重力波がやってきた方向を知るには3箇所以上の設備で同時に観測する必要がある。観測設備が多いほど精度が上がるので国際協力が欠かせない。観測所の建設費や運営費も巨額だ。3月15日から試験観測を始めるKAGRAの建設費は今年度までに155億円。LIGOに劣らぬ高い性能を誇るが、存在感をどう発揮するか試練の時を迎える。

(朝日新聞2月13日朝刊第2面より)

静岡大学グローバル人材育成

「アジアブリッジプログラム」

特定基金 事業後援会へのご協力へのお願い

日頃から静岡大学の活動に対しご理解と協力を賜り、誠にありがとうございます。

近年、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、大学教育のグローバル化が求められております。平成25年11月に示された国の「国立大学改革プラン」においては、2020年までに外国人留学生を14万人から30万人に、日本人の海外留学生者を6万人から12万人に倍増させるとの

方針も示されました。

他方、海外進出する県内企業においては、近年、東南アジア地域への進出が加速しており、静岡県も同地域3カ国にビジネスサポートデスクを開設するなど、支援体制を強化しています。

地域と共にある「静岡大学」としては、アジアを中心とする海で活躍するグローバル人材（留学生、日本人学生）の育成を戦略的に行うこととし、昨年、「グローバル改革推進機構」を設置し、新たな教育プログラム「アジアブリッジプログラム」を開設するに至

りました。国際展開する静岡県の企業及び自治体との連携の下、静岡とアジア諸国の架け橋として活躍する人材輩出を通して、地域と産業の国際活動の活性化への貢献を目指します。

しかしながら、我が国の財政状況は厳しさを増し、国立大学の事業費である運営費交付金は、毎年1%減（本学の場合、約7千万円）で推移しております。東南アジアから優秀な留学生を数多く受け入れ、また、日本人学生を同地域へ

就業体験させることを前提とした、同プログラムの実施には、財政的基盤の強化が不可欠であります。

このため、「静岡大学未来創成基金」に、「静岡大学グローバル人材育成アジアブリッジプログラム特定基金事業後援会」を創設し、広く皆様からの基金へのお力添えをお願いするのといたしました。

趣旨にご賛同いただける皆様からの寄附金を、留学生への奨学金や学生の海外派遣などへの支援に活用させていただきます。本教育プログラムが魅力あるものとして展開し、地域にある大学としての存在感をより一層強固なものとし、その成果を広く社会に還元していく所存です。

る皆様のご支援を心よりお待ちしております。未筆ながら、費社の益々のご隆盛を祈念申し上げます。

平成27年7月吉日

静岡県西部地区代表世話人
スズキ株式会社
代表取締役会長(印)
鈴木 修

静岡県中部地区代表世話人
株式会社静岡銀行
代表取締役頭取
中西 勝則

静岡県東部地区代表世話人
白井国際産業株式会社
代表取締役会長
白井 孝晶

国立大学法人 静岡大学
学長 伊東 幸宏

東海地区交流会 幹事募集

2017年度に名古屋を中心とした静岡大学東海地区交流会を開催します。開催に向けての実行委員会が数度行われます。名古屋近辺に在住の卒業生で、ご協力いただける方を募集しています。ご協力いただける方は、静岡大学事務局までご連絡ください。

静岡大学理学同窓会事務局
静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い

理科教育の重要性が声高に言われるようになった今ですが、同窓生の皆様におかれましては、各分野で活躍のことと思います。静岡大学においても教育学部の定員削減に伴い、創造理学グローバル人材育成コースを設け、理科志望の学生を受け入れるなど理学部の重要性は高まっています。しかしながら、文部科学省の基礎研究への配分が少なく、かつ実績重視のため、教育にかかる父母の負担が高くなっているのが現状です。実験や実習を減らし、パソコンによるシミュレーションを行うことでは、未来の科学者を育成することは困難です。静岡大学の理科教育の向上をはかり、予算獲得の実績を作るためにも、同窓生の皆様方のご支援が今必要です。

会報28号(平成25年3月発行)にて会員の皆様にお知らせした「静岡大学未来創成基金」の口座を利用し、理学部・理学系大学院(大学院理学研究科・創造科学技術研究科)への教育支援・研究支援などが行えます。

理学教育の重要性が声高に言われるようになった今ですが、同窓生の皆様におかれましては、各分野で活躍のことと思います。静岡大学においても教育学部の定員削減に伴い、創造理学グローバル人材育成コースを設け、理科志望の学生を受け入れるなど理学部の重要性は高まっています。しかしながら、文部科学省の基礎研究への配分が少なく、かつ実績重視のため、教育にかかる父母の負担が高くなっているのが現状です。実験や実習を減らし、パソコンによるシミュレーションを行うことでは、未来の科学者を育成することは困難です。静岡大学の理科教育の向上をはかり、予算獲得の実績を作るためにも、同窓生の皆様方のご支援が今必要です。

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。

理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い。

理学同窓会寄付講義 講師募集

大学院理学研究科の講義のひとつとして、理学同窓会寄付講義が開催されています。この講義は、研究機関や企業・中高校等で活躍中の理学同窓会の会員により、企業や研究所、教育現場などで今何をしているのか、働く現場ではどのような人材が望まれているのか、また大学院・学部でのようなことを学ぶべきかなど、在学中の経験を踏まえおおよそ60分から90分講演をしていただきます。後輩のために先輩としての貴重な経験談をしてくださる方を募集しています。学科・経歴・年齢などは問いません。奮ってご応募ください。

応募または推薦していた方には、理学同窓会事務局または担当教員までご連絡ください。

平成28年度担当教員
生物科学科 粟井光一郎
地球科学科 三井雄太

静岡大学理学同窓会事務局
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081
(電話は大容量の伝言登録機能付です)

静岡大学理学部長・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

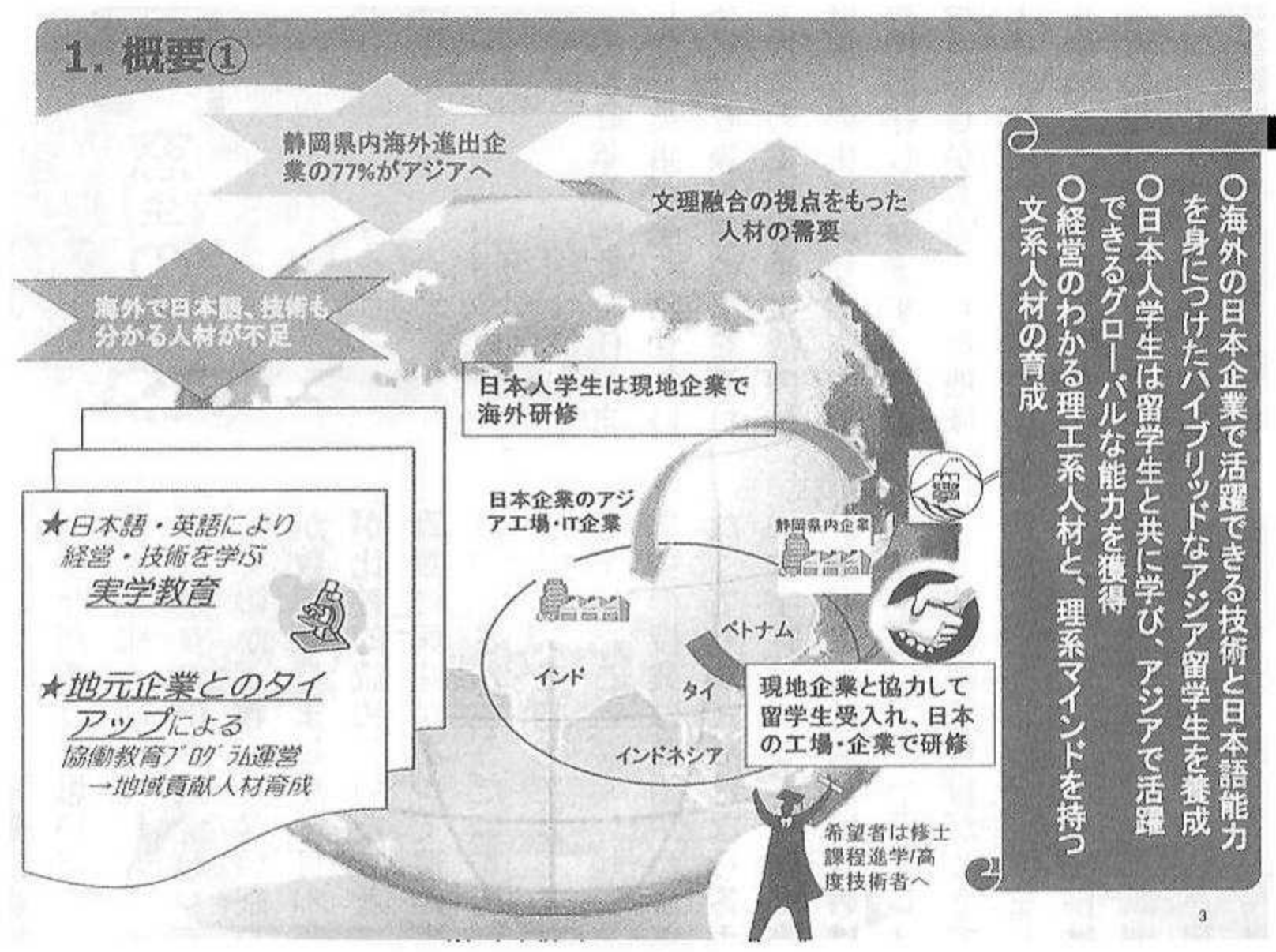
静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081

静岡大学理学部・理学研究科長 塩尻信義
静岡大学理学同窓会会長 浅野安人
静岡大学理学同窓会事務局 静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部C205-1
scialm@ipc.shizuoka.ac.jp
TEL./FAX. 054-238-3081



プログラム内容

	学士課程	修士課程
留学生	40名 *全6学部 ・現地入試/初学期教育(日本語集中学習・基礎科目) ・日本語による専門教育 ・日/英によるABP科目 ・インターンシップ [共通事項] V 秋季入学 V 検定科・入学料免除、授業料の軽減	40名 *理工系4研究科 ・英語だけで学位取得が可能 ・初級日本語教育 ・英語によるABP科目履修 ・インターンシップ
日本人学生	60名 *全6学部 ・語学レベルTOEIC550 ・海外インターンシップ [共通事項] V ABPを副専攻として履修 V 語学力強化/英語によるABP科目履修 V 留学生との協働学習コミュニティの形成 V 県内企業の海外拠点インターンシップ/協定校等の海外プログラム	40名 *理工系4研究科 ・語学レベルTOEIC600 ・海外研修

総事業経費

- 平成21-26年度：約6.3億円
・大学改革推進補助金
・NIFRR(national Inter-Facing Engineering Education)プログラム
・ABPプログラム準備(広報、リクルート、入試)
- 平成27-31年度：約24億円
・大学改革推進補助金/静岡大学負担約 12億円
・寄宿舍新設(190戸) 約9億円
・特定基金/奨学金・事業推進費 約3億円
→特定基金 約3億円は 総事業費 約30億円の10%

同窓生の窓

英国だより

山川 恵子

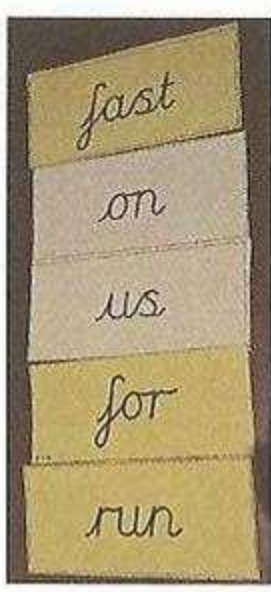
娘が昨年英国に赴任しました。英語が全く話せない4歳と6歳の男の子を連れて行くので、年金生活の私は彼らの生活のサポートで短期滞在しています。この短い、しかも限られた地域での学校について述べたいと思います（決して一般的と思わないで下さい）。

ロンドンから電車なら40分の郊外、そばをテムズ川が流れナショナルトラストの公園や会員制ゴルフコースが散在しているアッパーミドルの住宅地というところでしょうか。子供たちは現地の小規模な私立校に通っています。2区画分の住宅地に民家風の校舎と狭いグラウンド。ホールと呼ばれる建物は机や椅子の移動で体育館・講堂・食堂に早変わり。近隣の公立校がサッカー場の2、3面は取れるような広い空間を所有しているのに比べると本当に狭い（日本の文科省なら絶対に認可しない！）。ここに小学校6学年と年長・年中の8クラス、約150人が通っています。

環境に置かれて緊張の連続だったろうと思います。その緊張も限界を超えると脳は眠りの指令に変わっていきのか、教室で深い眠りが数回ありました。日本語が比較的読めていたこと、算数に興味があった遠山啓著の「さんすうだいすき」シリーズを自分で読みこなせていたことが幸いして、EYFの授業は英語がわからなくても数式だけなら答え（数字）はでる！そして書ける。万国共通というのがある。彼が得意科目ができて自信に結びついていきました。2年になった今は掛け算（Time Table）と四則演算が入った文章問題が宿題として出てきます。写真



象外と最初から判断しているのがよくわかります（）。これからは英語力がないと解けない問題になるでしょう。彼がどのようにしてそれを克服していき、自分の立ち位置を確保していくのか楽しみです。彼の名誉のためにいうと、2年の1学期（Autumn Term）に「Carling Cup」を受賞しました。友達にケアされる側のはずなのにケアする側？と理解できなかったのですが、「彼はEYFの時に友達に教えているんじゃないの？」と言われて納得でした。それにしてもこんな粋な計らいをしてくださる担任に感謝です。



もう一つ、「Hand Writing Time」を紹介します。手書き文字のことで、この地ではとつても大切です。英国はカード文化で、誕生会の招待・お礼などにカードを頻りに贈りあいます。そしてそこに書かれるのはうっとりするような手書き文字です。四歳の子が習い始めました。写真は週末にできる

第2回 静岡大学理学同窓会東京支部 総会・講演会・懇親会の開催



第二回静岡大学理学同窓会東京支部の総会・講演会・懇親会が、2015年5月30日（土）17時30分から21時まで、アルカディア市ヶ谷で開催されました。

総会終了後、石原英一氏（数学87年入学）の講演「世界一周食べ歩き」

と藤岡換太郎支部長（地学67年入学）の講演「深海底の金属資源」が行われました。

懇談会の最中に、地震に襲われましたが、さすがに自然科学の知識の豊富な顔ぶれで、一向に驚いた様子はありませんでした。

静岡大学同窓会 第1回静岡県交流会開催



須藤 修氏 静岡県内の同窓生が学部を超えて一同に会し交流する、静岡大学同窓会第1回静岡県交流会が、平成27年6月27日（土）にホテルセンチュリー静岡5階大ホールで、田辺静岡市長、鈴木浜松市長、その他経済界の代表者を来賓に迎えて盛大に開催されました。静岡大学の果たしてきた役割を確認し、これからの大学づくりを応援するための良い交流会となりました。

東京大学大学院教授の須藤氏（人文12回経済）を講師に迎えての講演「ICTイノベーションと社会の変化、そして大学の役割！」と、静岡大学教育学部助教の長谷川慎氏（生田流箏曲演奏家）を奏者に迎えての演奏「心にしみる、清冽な箏の調べ！」で交流会の雰囲気一段と盛り上がりを見せました。

静岡大学理学部 ホームカミングデー & 科学講演会

●静岡大学理学部同窓会・懇親会案内●

★日時 平成27年11月14日（土）★
★時間 14時～

★場所 理学部A棟2階 大会議室★
講師 道林 克博
(静岡大学理学部地球科学科教授)

演題 「深海の探索～しんかい16500に乗って～」

「しんかい16500」は、6,500mの深さまで潜ることができる有人潜水調査船で、1989年に三菱重工長崎（株）神戸造船所で完成しました。その当初の目的は日本近海だけでなく太平洋やインド洋、北極海にまで及び、これまでに延べ1,414回の航行を行ってきました（2014年11月現在）。現在、船中の大深度まで潜ることができる有人潜水調査船は、世界でも数少ないです。その中で「しんかい16500」は、日本のみならず世界の深海調査研究の中核を担う重要な役割を果たしています。

「しんかい16500」に乗り込んで、マリナ号機などにおける潜水調査などお話を聞かせていただきます。

●理学部懇親会（予定）●
(15時50分～ 理学部大会議室A209)
講演会終了後、懇親会を兼ねて、理学部の卒業生・教職員・学生会員の親睦を深めるため、懇親会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

ぜひこの機会に学内をゆっくり見学してみたい方がいらっしゃいます。見慣れた学内でも、新しい発見があるかもしれませんよ！



理学同窓会は理学部ロゴマークの作成に協力しました。本部及び各支部で同窓会活動を行う役員の方は、名刺に添付するシールを配布しますので、事務局までご連絡ください。

一般会計		2015年3月31日	
収入の部	前年度繰越金	3,680,724	
	終身会費	3,320,000	
	寄付	10,000	
	記念誌発行	75,000	
	名簿代	2,000	
	受取利息	18	
	雑収入	0	
	合計		7,087,742
支出の部	印刷費	1,966,301	
	通信費	692,152	
	会議費・旅費交通費	376,669	
	事務用品費	7,694	
	送金手数料等	27,298	
	備品代	43,027	
	ホームページ作成	0	
	特別講座支援	200,000	
	学術集会等支援	0	
	事務手数料	180,000	
	総会費	0	
	東京支部活動支援金	141,141	
	全学同窓会負担金	0	
	慶弔費・その他	3,240	
	合計		3,637,522
差引残高			3,450,220
1. 印刷費	卒業研究抄録集 (600部)	727,380	
	会報印刷 (9700部)	1,075,140	
	封筒印刷	55,188	
2. 特別講座支援 (平成26年度)		200,000	
3. 送金手数料等		2,160	
4. 事務手数料		180,000	
小計		2,239,868	
監査	松山 初男		
監査	野口 和廣		

2015年 理学部ニュース

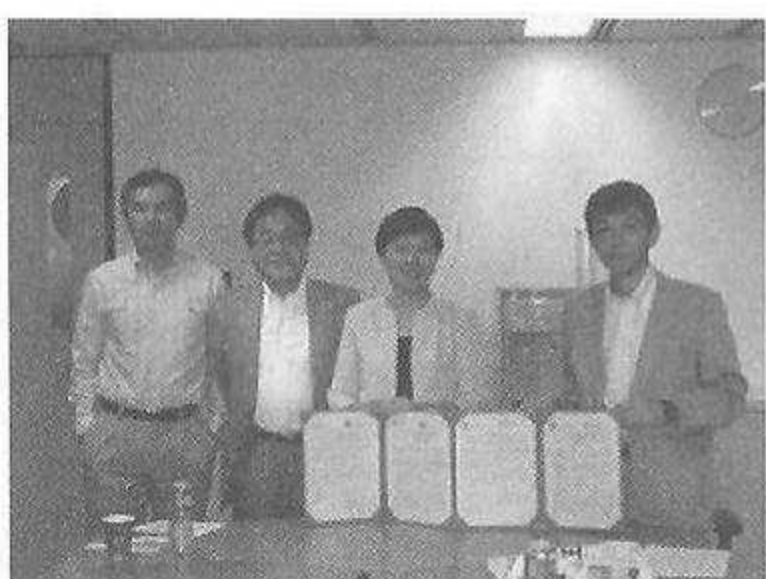
●さくらサイエンスプランに採択されました

2015年5月12日
平成27年8月23日～9月12日までの21日間、中国兩研究所から11名の教員・学生が来学します。本学の実施担当は大矢恭久准教授です。

とを目的としています。

「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」は、産学官の緊密な連携により、優秀なアジアの青少年が日本を短期に訪問し、未来を担うアジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を

岡大学の理学部および総合科学技術研究科は香港科技大学 (HKUST) の理学院と協定を締結しました。香港科



●徳元教授らが活性型のヒトステロイド膜受容体の人工合成に成功

2015年10月5日
創造科学技術大学院院バイオサイエンス専攻の徳元教授らの研究グループは、ピキア酵母を用いてヒトのステロイド膜受容体の大量合成とホルモン結合活性を維持した状態での精製に成功しました。本研究は、環境リーダ育成プログラムの大学院生であるバブルホシャイン君の学位論文のテーマとして進められたもので、静岡大学のプロジェクト研究である「高齢化・福祉社会を支えるナノバイオ・ナノテクノロジー研究の推進」の研究成果の一つで、オンライン米科学雑誌「PLoS ONE」12月23日に掲載されました。研究成果の詳しい内容は、下記リンクをご覧ください。

●木村杏子講師が第4回名古屋大学数理学学生奨励賞を受賞

2015年11月5日
本理学部数学科の木村杏子講師が第4回名古屋大学数理学学生奨励賞(飛田賞)を受賞しました。この賞は、名古屋大学院多元数理学研究科出身の若い研究者に対して、贈られます。

●APSOTで学術研究員胡翠さんがYoung Researcher Awardを受賞

2015年11月9日
APSOTにて学術研究員胡翠さんがYoung Researcher Awardを受賞しました。この賞は、名古屋大学院多元数理学研究科出身の若い研究者に対して、贈られます。

●勝俣和夫さん(化学専攻2年)が若手優秀発表賞を受賞

2015年12月11日
第88回日本生化学会大会(合同大会)が開催されました。

●大友翔平さん、阿部貴洋さんが日本古生物学会優秀ポスター賞を受賞

2016年2月17日
地球科学科4年の大友翔平さん、理学研究科地球科学専攻修士課程2年の阿部貴洋さんが、平成28年1月29日から31日に京都大学で開催された日本古生物学会第165例会において、優秀ポスター賞を受賞しました。

●理学部ロゴマークの決定について

2015年11月24日
理学部ではこのたびロゴマークのデザインを理学部所属の学生、教職員から公募し、生物科学科1年生の水谷麻希さんのデザインをモチーフとして採用し、表彰式を執り行いました。

●さくらサイエンスプランに採択されました

2016年2月18日
科学技術振興機構(JST)の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」(さくらサイエンスプラン)に、本学総合科学技術研究科理学専攻と中国等離子体物理研究所および中国西南物理研究院との共同研究活動コースが採択されました。本活動は「エネルギー環境問題と原子力・放射線安全」をテーマとし、

この賞は一般口頭発表を行う若手研究者や大学院生・大学院生に対して贈られます。演題名：減数分裂期のテロメアによるセントロメア制御とスピンドル形成における役割
指導教員は大学院理学研究科化学専攻の山本歩教授。

●さくらサイエンスプランに採択されました

2016年2月18日
科学技術振興機構(JST)の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」(さくらサイエンスプラン)に、本学総合科学技術研究科理学専攻と中国科学院上海セラミックス研究所との科学技術交流活動コースが採択されました。本活動は「セラミックスと放射線との相互作用と表面分析技術」をテーマとします。

●同窓生の皆様に住所や勤務先、連絡先(電話・FAX)等の変更がございましたら、同窓会事務局まで一報ください。また、同窓会主催・共催の催し物のお問い合わせも同窓会事務局までどうぞ。

●同窓会事務局員も、現在の担当になって今年で7年目を迎えます。今年度も同窓生の皆様へ大学内の情報を精一杯お届けします。

●連絡先は左記の通りです。

事務局だより

- 2015.04.04 H27年度入学式
- 2015.05.12 さくらサイエンスプランに採択
- 2015.07.02 静岡サイエンススクール「サイエンス・サマープログラム2015」
- 2015.09.18 香港科技大学理学院と協定を締結
- 2015.10.05 徳元教授らが活性型のヒトステロイド膜受容体の人工合成に成功
- 2015.10.07 桜田翔平さんが日本原子力学会にて優秀賞を受賞
- 2015.10.28 静岡新聞に理学部教員のコラムが掲載中です
- 2015.11.05 木村杏子講師が第4回名古屋大学数理学学生奨励賞を受賞
- 2015.11.09 APSOT-1で学術研究員胡翠さんがYoung Researcher Awardを受賞
- 2015.11.14 同窓会主催の科学講演会/OBとの懇談会開催
- 2015.11.17 H28年度大学院総合科学技術研究科修士課程理学専攻第2次学生募集要項
- 2015.11.24 理学部ロゴマークの決定について
- 2015.12.11 勝俣和夫さん(化学専攻2年)が若手優秀発表賞を受賞
- 2016.01.28 H27年度理学部講演会
- 2016.02.17 大友翔平さん、阿部貴洋さんが日本古生物学会優秀ポスター賞を受賞
- 2016.02.18 さくらサイエンスプランに採択
- 2016.03.21 H27年度卒業式/学位授与式

●徳元教授らが活性型のヒトステロイド膜受容体の人工合成に成功

●木村杏子講師が第4回名古屋大学数理学学生奨励賞を受賞

●APSOTで学術研究員胡翠さんがYoung Researcher Awardを受賞

●勝俣和夫さん(化学専攻2年)が若手優秀発表賞を受賞

●大友翔平さん、阿部貴洋さんが日本古生物学会優秀ポスター賞を受賞

●理学部ロゴマークの決定について

グローバルな課題である地球環境問題について理解を深めるとともに、その一つの解決手法である原子力発電のしくみについて学習する。また、原子力発電で問題になる放射線について基礎的な知識を実験を通して理解し、エネルギー環境問題の中で原子力の役割およびその安全確保の必要性を理解させ、将来のエネルギー環境問題克服のためのリーダーとなる人材の日本留学の動機付けを与えるこ

深めることを目指します。そしてアジアの青少年の日本の最先端の科学技術への関心を高め、日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の育成を進め、もってアジアと日本の科学技術の発展に貢献することを目的としています。

●香港科技大学理学院と協定を締結

●APSOTで学術研究員胡翠さんがYoung Researcher Awardを受賞

●勝俣和夫さん(化学専攻2年)が若手優秀発表賞を受賞

●大友翔平さん、阿部貴洋さんが日本古生物学会優秀ポスター賞を受賞

●さくらサイエンスプランに採択されました

●同窓会事務局員も、現在の担当になって今年で7年目を迎えます。今年度も同窓生の皆様へ大学内の情報を精一杯お届けします。

●連絡先は左記の通りです。



学会会長より賞状を授与

●同窓会事務局員も、現在の担当になって今年で7年目を迎えます。今年度も同窓生の皆様へ大学内の情報を精一杯お届けします。

●連絡先は左記の通りです。

事務局だより



紅一点のころ

26理二 芝 康 平

われわれの高校生活は1年で終わっている。このわずかに1年の間に、それまでとは大変に違う自由で別世界、すなわち青春を謳歌できる環境に浸ることが出来たわけである。親元を離れたの寮生活は、旧制高校の象徴そのものであった。あの食糧事情の悪かった時代に同じ釜の飯を食べ、四六時中互いに文字通り切磋琢磨し、良き先輩同輩に恵まれて、楽しい有意義な一時期を過ごす。その交友関係は年を経るにしたがい、ますます深まっていく。昨今である。

一方学業といえば、理科生でありながら語学の時間が多く予習に追われたが、これが旧制高校の特徴であったともいえる。独語は尾崎、野村両先生のご薫陶を受けたが、ことに野村先生にはクラス担任として公私にわたりご指導を頂き、今でも年一回は行われるクラス会に奥様ともどもご出席を頂いている。先生にとつて、われわれは静高における最初で最後のクラス担任であったのと、年もわずか十年くらい上の兄貴的存在であったこともあってクラス全員ご親交を願っている次第である。

もう一つ特筆すべきこと

は 静高開びやく以来の女子学生—この時期は高校生と呼ばず高等学生と呼ばれていたはず—が文科と理科に一名ずつわれわれの仲間入りしている。その中の一人がわが理科2組の美人で才媛の山本葉子嬢(現在清水酒邸氏夫人)であった。東京の女高師附属女学校(通称御茶ノ水卒)の四修で入学して来たのだから、学校全体の注目の的だった。

一般的に女性は語学に強く理数系に弱いというのが通例であるが、彼女の場合後者に抜群の力量があることが一学期の理科1、2組合同の数学テストで示された。満点を取ったのは彼女一人のみであったことが教室で先生より発表された時、われわれ一同愕然の思いであった。年一回のクラス会にも万難を排して出席してもらっているが、野村先生と彼女が中心となつて話はずむのは、昔と変わらぬ風景である。彼女がこの記念誌に投稿すべく矢野邦彦君と小生でお願しているが、これがないと理科2組のそれに画竜点睛を欠くこと間違いなし。

いずれにしろ学校、寮生活での思い出は枚挙にいとまがないが、何か急に大人

びた世界に入りこんだ錯覚も束の間、またはや学制改革(改悪)の波にあって、残念ながら1年間で静高より追い出される羽目になったわけである。

旧制高校生活わずか1年の経験でその存在意義を云々することはできない

が、少なくともその入り口に立つて中を覗き込み、その匂いを嗅ぎ、何かあることに気がついて、それがその後の人生のなんらかの糧になったことは間違いなくように思われる。現在でも静高というタイムトンネルに乗ると、三十有年前前に立ち戻るのには有り難いことである。

(官立静岡高等学校創立60周年記念誌『青春奏つへし』別冊より転載)

賤機山の

幻の『哲学の道』

11理乙 満川 元之

色々の市や町に出かけるが、単調な道路やビルや町並みだけでは情味がなくおもしろさがない。私は生来、城とお寺が好きである。城郭と神社仏閣の雰囲気が好きなのである。昭和8年(1933年)私が静岡高等学校を選んだのも、まだ見たこともなかった駿府城の城下町に憧れたことにもよる。静高に入学して入寮して最初の1年間は穆察の1階に、2年目の春から悟察の2階に起居した。寮の食堂の窓からは芙蓉の峰が見られるのが嬉しかった。学校のすぐ近くにある賤機山に興味を持ち、登山口には風格のある浅間神社のことも知り、寮の夕食前に登った。ある春の日、爛漫と咲き誇る桜花の一陣の春風による花吹雪の美しさは、私の生涯の最高の桜の美しさとして賤機山が私の脳裏に焼きついている。

1年生の正月を過ぎてふとしたことから、人生をとりまくすべての事を疑い考察するというそれまでの平穩な世界とは異なる別世界に踏み込み、それがとりもなおさず、『哲学の道』ということにはかならず怒濤の生活を送った。

その後、幸いにして東京帝国大学の医学部に入り、生理学の教授・橋田邦彦先生(のち第一高等学校の校長兼務を経て、第二次近衛内閣、次いで東条内閣の文部大臣となり、終戦後惜しくも自決される)からの影響により、禅という精神界の別世界があることを感知して心の安心立命を得た。やがて第二次世界大戦中、隊付軍医として従軍した東部ニューギニアの戦場は、戦没者約九割、生還者約一割という生死を分かち分水嶺の一線を歩む、私にとつては禅の道場となった。

昭和34年(1959年)の7月にカナダのモントリオールで開催された国際小児科学会に参加した機会にアメリカ各地を巡察し、当時二大陸にわたる外国旅行は困難のところ、ニューヨークで知り合った人たちの好意で初めて就航したというジェット機でロンドンに飛び、以後欧州各国を歴訪した。ドイツに入つて私の大きな狙いとする所は、ハイデルベルクの古城と『哲学者の道』であった。

当時の私の旅日記では、10月16日(金)フランクフルトより汽車で夕方ハイデルベルクに到着。「当夜は満月で月光に照らされてハイデルベルクの山影美し」と記してある。翌17日(土)ハイデルベルクの古城への坂道を登り、古城を堪能、下山後古き大学や小児病院を横目で見てネッソカ河の古い橋を渡り、『哲学者の道(Philosophens Weg)』を登つて対岸の街や古城を眺めつつ散策、「駿府城下の賤機山を思い起こすこと頻りに」と記してある。翌18日(日)午前中、性懲りもなく再び Philosophens Weg を歩き、どこまでも奥深く森林の道を行き、途中空腹のため、また汽車の時間を考慮して引き返し、再びフランクフルトに戻った。

岡城への坂を登りつめたところに岡城址の門柱があり、石垣を仰ぎ見ながら石段を登つてゆく雰囲気は誠に良く、登りつめて本丸への道と二の丸への道の三叉路に達し、先ず本丸への道を進む。なぜか麓の道路のトンネルからか、『荒城の月』の音曲が時々聞こえる。天守閣の跡地周辺の石垣の壮大なる美しさ、左右の眼下に流れる稲葉川と白滝川の川の流れる素晴らしさ。本丸の右側の小道をどこまでもどこまでも歩いてみたが、この道はまさにハイデルベルクの『哲学者の道』に勝るとも劣らぬ『哲学の道』と思われた。そして、その間、間合いに聞こえる『荒城の月』。少年時代を過ごした滝廉太郎をして感奮興起せしめた岡城址の規模と風格、まさに天下の名城と思われた。

帰途、坂の麓にある廣瀬神社に立ち寄ると、境内の入り口に立つ竹田市出身の阿南惟幾大将について岸信介元内閣総理大臣執筆の顕彰碑があるのが印象的であった。阿南大将は終戦時の陸軍大臣で終戦前夜に自決され当時の日本の内乱を未然に防いだ、その前は西部ニューギニアから臺北方面の第二方面軍司令官で、私の所属した第十八軍も一時期この隷下に入ったこともあるので、特別な感慨一入なるものがあった。その帰途、午後六時となり、街中に大きく『荒城の月』の音が流れた。普通の町で聞く『夕焼け小焼け』でなくこの街では『荒城の月』、風格のある岡城址、私のいう『哲学の道』、舞台装置は最高といえる。凝り性の私は、翌平成4年3月にも、また平成6年4月にも、この岡城址を訪れている。

それにつけても、私がいつも思い浮かべるのは静岡の賤機山の逍遙の道であった。賤機山は、入口には浅間神社、尾根道の東側には駿府城址、西側には安倍の川瀬の清流、展望台の眼下には静岡高等学校、今では跡地の記念公園、その奥の山の麓には徳川家康ゆかりの臨濟寺という天下の名刹である。そして遠望すれば秀麗なる芙蓉の峰。

あの賤機山の逍遙の道を何度も踏み締めたあの当時、昭和8年(1933年)から11年の17才から20才までの六十数年も前のことで、静高生あの頃の唯一回、私は展望台から鶴越えの逆落しのように道なき蜜柑畑をかけおりたことがあった。もし展望台から臨濟寺近くまでのいろは坂の小道が作られるならば、浅間神社から臨濟寺までに至るあの逍遙の道は『哲学の道』として最高の舞台装置となる。

欲をいえば、超一級の蕎麦屋と汁粉・甘酒屋でも配置すれば、更に申し分ない。

その頃から今の八十数才にいたる私の生涯を通して、私の科学的・精神的・哲学的の原点を作つてくれた静岡の天地、賤機山の幻の『哲学の道』は、私の頭の中に刻まれて今でも離れることはない。

(旧制静岡高等学校同窓会誌『龍爪第69号』より転載)

朽の名著『風土』の著者・和辻哲郎という両哲学者ゆかりの『哲学の道』で、思案にふけりながらこの道を歩いたという。私も何回かこの道を歩いたが、最近はこの道が敷きつめられて、却つて歩き難く、思案の邪魔になる思いがした。

昭和59年(1984年)秋、私は先の大戦中の東部ニューギニア戦線での体験を戦記『塩』と題して一冊の本にまとめたが、この戦記に共感を示された方々のなかにMさんとIさんがいた。Mさんは私の栃木県立宇都宮中学校の同窓で十年後輩であり、Iさんは九州北部の出身で戦時中台湾を基地とする陸軍特別攻撃隊員の生き残りであり、Mさん主導で昭和62年から年に3回の会食懇談会が設けられ4年間も続けた。そのうちIさんは、私の全く知らなかつた鹿児島島の西側薩摩半島の中央にある陸軍特攻隊基地のあった知覧と、東側大隅半島の中央にある海軍特別攻撃隊基地のあった鹿屋を是非訪ねることを勧め、さらにお城が好きなら、姫路城・熊本城もさることながら、豊後竹田の岡城址を訪ねるよう強く勧めた。

そこで平成3年(1991年)の5月下旬、福岡での学会に参加した機会に、南下して知覧と鹿屋を訪ね、双方の記念館を中心にしてあの当時のことを思い及び、東部ニューギニア戦線とは違った別の戦場があったと、ただならぬ感動を覚え、そこから北上して竹田市を訪ね、Iさん推奨のホテル岩城屋に宿をとり直ちに岡城址に向かった。

岡城への坂を登りつめたところに岡城址の門柱があり、石垣を仰ぎ見ながら石段を登つてゆく雰囲気は誠に良く、登りつめて本丸への道と二の丸への道の三叉路に達し、先ず本丸への道を進む。なぜか麓の道路のトンネルからか、『荒城の月』の音曲が時々聞こえる。天守閣の跡地周辺の石垣の壮大なる美しさ、左右の眼下に流れる稲葉川と白滝川の川の流れる素晴らしさ。本丸の右側の小道をどこまでもどこまでも歩いてみたが、この道はまさにハイデルベルクの『哲学者の道』に勝るとも劣らぬ『哲学の道』と思われた。そして、その間、間合いに聞こえる『荒城の月』。少年時代を過ごした滝廉太郎をして感奮興起せしめた岡城址の規模と風格、まさに天下の名城と思われた。

帰途、坂の麓にある廣瀬神社に立ち寄ると、境内の入り口に立つ竹田市出身の阿南惟幾大将について岸信介元内閣総理大臣執筆の顕彰碑があるのが印象的であった。阿南大将は終戦時の陸軍大臣で終戦前夜に自決され当時の日本の内乱を未然に防いだ、その前は西部ニューギニアから臺北方面の第二方面軍司令官で、私の所属した第十八軍も一時期この隷下に入ったこともあるので、特別な感慨一入なるものがあった。その帰途、午後六時となり、街中に大きく『荒城の月』の音が流れた。普通の町で聞く『夕焼け小焼け』でなくこの街では『荒城の月』、風格のある岡城址、私のいう『哲学の道』、舞台装置は最高といえる。凝り性の私は、翌平成4年3月にも、また平成6年4月にも、この岡城址を訪れている。

それにつけても、私がいつも思い浮かべるのは静岡の賤機山の逍遙の道であった。賤機山は、入口には浅間神社、尾根道の東側には駿府城址、西側には安倍の川瀬の清流、展望台の眼下には静岡高等学校、今では跡地の記念公園、その奥の山の麓には徳川家康ゆかりの臨濟寺という天下の名刹である。そして遠望すれば秀麗なる芙蓉の峰。

あの賤機山の逍遙の道を何度も踏み締めたあの当時、昭和8年(1933年)から11年の17才から20才までの六十数年も前のことで、静高生あの頃の唯一回、私は展望台から鶴越えの逆落しのように道なき蜜柑畑をかけおりたことがあった。もし展望台から臨濟寺近くまでのいろは坂の小道が作られるならば、浅間神社から臨濟寺までに至るあの逍遙の道は『哲学の道』として最高の舞台装置となる。

欲をいえば、超一級の蕎麦屋と汁粉・甘酒屋でも配置すれば、更に申し分ない。

その頃から今の八十数才にいたる私の生涯を通して、私の科学的・精神的・哲学的の原点を作つてくれた静岡の天地、賤機山の幻の『哲学の道』は、私の頭の中に刻まれて今でも離れることはない。

(旧制静岡高等学校同窓会誌『龍爪第69号』より転載)